


❁平城中学校区


めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」 ～ 平城の地でいのちを育もう ～

▶平城中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<p>田植え、稲刈り、芋づくりなど多くのことを楽しみながら体験していると思います。“食と農”ふれあいフェスタ事業も盛況のうちに9回目を終えました。遊びコーナーの企画や模擬店のお手伝いに中学生も重要な役目を担っています。地域の取り組み目標に近づけました。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「平城の地に生まれ育ってよかった」と思う気持ち ・自分で考え、行動できる力 ・自分も友達も大切にできる心
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を通じて自然との繋がりがわかる人間づくり。 ・この地域の環境がいかに優れているか恵まれているかを学びそして体感する。 ・心と体を育てる食育の大切さを家庭にも発信する。 ・人に優しい生き生きと暮らせる地域づくり 

▶平城中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>「確かな学力を身につけ、学校・地域の中で心豊かに生活できる生徒を育てる。」を学校教育目標に掲げ、家庭や地域から信頼される学校づくりを進めている。生徒たちは「平城中最高！」を目指し、授業や学校行事に積極的に取り組んでいる。地域の方々は学校からの支援要請を受け、環境整美活動やムラサキイモ栽培の体験活動の協力をしていただいている。また、成果をキャリア教育の取り組みとして、事業所や地域の方を招きポスターセッションを実施している。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら考え、主体的に行動するとともに、仲間を大切にできる生徒の育成。 地域で守り育てられている自覚と地域活動に積極的に活動する生徒の育成。 将来につながる探求型の学習を行い、学ぶ楽しさと意欲をもった生徒の育成。</p>
<p>取組内容</p>	<p>サツマイモの栽培、今年度新たに計画中の「食と農・命を育む」事業を通して、食育やキャリア教育の推進を図る。また、これらの活動において、生徒が主体的に企画運営に参画し、自主性、リーダー性、責任感を育むとともに達成感を味わわせる。さらに、積極的にボランティア活動に参加することを通して、地域貢献の意識を高揚させる。</p> 

▶平城小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校区は、旧村集落と、新興住宅や集合住宅、商業施設が混在した校区であり、また田園地帯も広がっている。児童数は570人前後で微減状態にある。このような中で、様々な家庭環境を背景にした児童の課題があり、その課題を解決するために、基礎学力の向上、基本的な生活習慣の確立、体験活動による成就感・達成感の育成などに地域の方々の厚い協力を得て取り組んでいる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>「自らの生活を切りひらく子どもの育成」を学校目標として、よく学びよく遊ぶことを通して、豊かな心・健康な体・主体的な学びから、しなやかな人間関係を獲得する児童を育成する。そのために、どの学年においても地域ふれあい事業に参加する児童を増やし地域との交流を深化させる。</p>
<p>取組内容</p>	<p>○米・野菜・花などの栽培や生き物の飼育などを地域の方々から学び、体験を通して、成就感を味わい、命の尊さを学ぶ。 ○幼・小・中の連携、地域とのつながりを深める。 ○ボランティアの読み聞かせを通して、朝読書を推進し、豊かな心や基礎学力の向上を図る。</p>



▶平城こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>こども園では、保護者の就労の有無等、生活環境の異なる1号認定児と2号認定児が共に生活している。また、昨今の社会情勢もあり、家庭でも屋内で過ごす幼児が多い。その為、家族以外の人とかかわったり、体を思いきり動かしたりする経験が少なく、コミュニケーション能力や運動が苦手な幼児が増えている。生活リズムも大人の時間に合わせる等、規則正しい生活が送りにくい幼児も少なくない。園では、現状をふまえ、園・家庭・地域とつながり、人とかかわる喜びや感動体験を大切に、たくましい体と豊かな心を育む取組を行っている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人との交流を通して、人とかかわる力を育てる。 ・意欲をもってやってみたいと夢中になって遊ぶ幼児を育てる。 ・のびのびと体を動かして遊び、しっかり食べて、健康でしなやかな体と心を身につける。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の教育力を活かし、栽培から収穫までを共にすることで、より大きな感動体験が得られるようにする。 ・ゲストティチャーを招いて、体を動かす心地良さや人とかかわりを通して、話す・聞く等のコミュニケーション力を豊かにする。 ・地域の方との触れ合いを重ねつながりを深め、憧れや優しさ、いたわり等の気持ちを育てる。

